

🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2019年3月4日

【2019年2月23日～2019年3月1日までの推移】

【1】先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円では上昇、対米ドルでは下落しました。また、2年国債金利は上昇しました。米朝首脳会談で合意がなされなかったことなどから、リスク回避の動きが強まり、新興国通貨全般が売られる中、ブラジル・レアルも対米ドルで下落しました。

市場が注目する年金改革法案については、ボルソナロ政権が下院議会での承認を受けるために、原案から3項目を修正すると発表しましたが、法案が修正されることは折り込み済みであったため、材料視されませんでした。法案の審議については、カーニバル休暇後に下院憲法司法委員会が招集される予定であり、審議が進む中で下院議会での支持票が明らかになってくるとみられており、市場参加者は様子見の姿勢です。

経済指標に関しては、第4四半期のGDP(国内総生産)や2月の製造業PMI(購買担当者指数)などが発表されました。GDPは四半期累計1.1%成長と市場予想を下回る内容となりました。2018年年初にはブラジルの本格的な景気回復が期待されていましたが、昨年5月に発生したトラック運転手のストライキや、大統領選をめぐる不透明感などによって、2017年に続いての低成長となりました。一方、2月の製造業PMIは前月から上昇しており、ブラジルの景気回復は緩やかながらも持続していることを示す内容となりました。

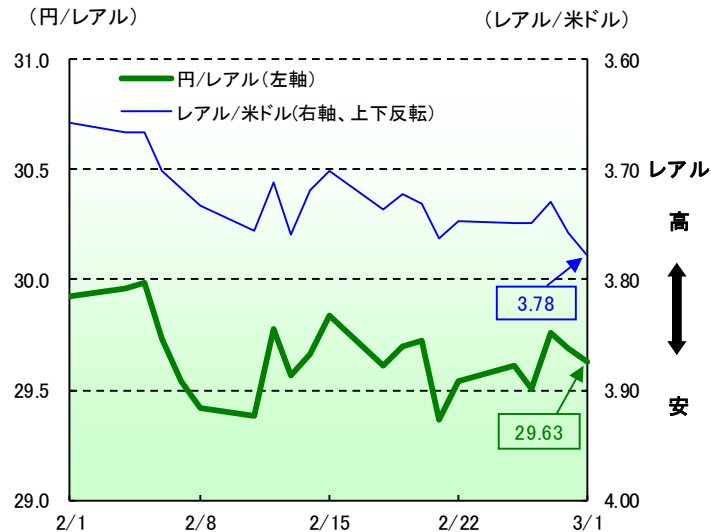
【2】今週の見通し

今週は、サービス業PMIなどの経済指標の発表が予定されています。

先週、ボルソナロ連立政権に関する世論調査結果が発表されました。ボルソナロ連立政権の支持率は38.9%、不支持率は29.0%となり、年金改革法案については、賛成が43.4%、反対が45.6%となり、賛成と反対が拮抗する結果になりました。賛成と反対が拮抗する中、ブラジル金融市場は審議の進展や法案の修正などに関するニュースに左右される展開が続くと考えます。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2019年2月1日～2019年3月1日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2019年2月1日～2019年3月1日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <https://www.daiwa-am.co.jp/>